

2021年7月30日

厚生労働大臣 田村 憲久 様
東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣
丸川 珠代 様

病床確保等の緊急要請
～助かる命が助からなくなる、最悪の事態を食い止めるために～

立憲民主党 新型コロナウイルス対策本部
会派 厚生労働部会
会派 文部科学部会

新型コロナウイルス感染症の影響が未だ継続している中、連日、ご奮闘いただいていることに敬意を表します。

東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県等で新規感染者が過去最多となるなど、これまでにない感染拡大が始まっています。それに伴い、特に50代以下の重症化が顕著にみられるようになっていきます。今後、これまで経験したことのないような医療ひっ迫となる恐れがあります。「助かる命が助からなくなる」という最悪の事態を食い止めるために、以下の措置を講じ、万全の準備を進めるよう、強く要請致します。

要請事項

1. 入院すべきと判断されたものの、入院できずに自宅等で待機している患者の方々が診療を受けられずに放置されることがないように、担当する医師を明確にした上で、訪問診療をする体制を作ってください。訪問診療ができない場合は、一日一回のオンライン診療を実施してください。また、症状が悪化した時に迅速に対応できるよう、診療等の情報を集約して一元管理し、把握漏れを無くしてください。
2. 自宅等で療養している方々に、パルスオキシメーターや食料品等を必ず配布してください。
3. 首相をトップとする病床確保等本部を官邸に設置して、医療圏ごとに連携をしながら、都道府県を超えて患者を受け入れる体制や医療関係者を融通し合う体制、自宅等療養者をケアする体制を確立してください。
4. オリンピック・パラリンピックをボランティアとして手伝っている、あるいは手伝う予定の医療関係者のうち、派遣元の病院に医療ひっ迫の恐れがある場合は、速やかに派遣元に戻る事が出来るように対処してください。

以上